

建学の精神	将来の地域を支える青少年の育成	明治34年、飯塚を訪れた文豪 森鷗外は地元との交流の中で地域における教育の大切さを説いた。その薫陶を受けた先人の思いが受け継がれ、昭和37年に学校法人嶋田学園飯塚高等学校が設立された。長崎街道の宿場町であった江戸時代から飯塚は外国人を含む多様な人々が往来した町であった。本校ではこうした歴史に醸成された「進取の気性」を大切にしながら、建学の精神を受け継ぎ、将来地域社会や世界の問題を広い視野で考え取り組んでいく若者の育成を目指している。			
校訓	熱力誠	「熱い心をもって真摯に学び、努力を継続することで真の力を身に付け、何事にも誠心誠意、誠の心を尽くす」			
教育目標	一人ひとりの資質（Individual）を開発し、時代（Global：グローバルな時代）と郷土（local）の要請に応える明朗で心豊かな人間を育成する				
教育指針	(1) 基礎基本の徹底を図り、確かな基礎学力を育成するとともに、地域貢献活動を通して持続可能な社会の創り手となれるような資質と能力を身に付けさせる (2) 実践的な英語教育を基盤に、国際交流やSDGsの取り組みなどを通して、多様な人々と繋がりながら自分の考えや思いを表現できる力を養成する (3) 地域との連携を図り、地域とともに生徒を育成するプログラムを推進することで、新たな「人・もの・こと」との出会いを大切にしながら課題解決していく力を育てる (4) 人権教育及び特別支援教育の視点に立った教育活動を推進し、自他の人権尊重の精神を養い、人間関係形成能力を向上させる				
スクールミッション・スクールポリシー	スクールミッション 目指す学校像 ①何事においても生徒が主体的に活動する学校 ②多様な人々と繋がりを大切にしたい教育活動を実践する学校 ③地域からの信頼にこたえ、地域とともにある学校 ④教師、生徒が信頼と尊敬に満ちた学校 ⑤校舎内外が常に整備され、清潔感に満ちた学校				
	目指す生徒像 ①志を持ち、学ぶ喜びや働く喜びを実感できる生徒 ②未来を切り拓き、世界を舞台に活躍する生徒 ③地域を知り、地域の課題解決に向け挑戦できる生徒 ④自分を律し、規則やルールを守る生徒 ⑤人権感覚を磨き、より良い仲間作りと生き方を求め続ける生徒				
	目指す教師像 ①時代のニーズに柔軟に対応できる教師 ②教育の専門職として常に自己研鑽に励む教師 ③毅然とした姿勢で教育活動に臨む教師 ④「師弟同行」・「率先垂範」を実行する教師 ⑤組織の一員として教育活動に取り組む教師	スクールポリシー グラデュエーションポリシー（育成を目指す資質・能力） カリキュラムポリシー（本校の教育活動） アドミッションポリシー（求める生徒像）			
	昨年度の成果と課題 ・令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、コロナ前の活動に徐々に戻せる状況となった。6月の体育祭は飯塚市総合体育館をお借りして実施した。海外の姉妹校とオンラインで結び、ハカやダンスと一緒に実施したり、照明を暗くしてケミカルライトを使用した演技など、本校ならではの、屋内開催ならではの内容で来賓や観覧者からの高い評価を得た。11月には飯塚本町・東町商店街で「第二回街なか学園祭」を開催した。商店街や地域企業とのコラボ、大学等との連携を重視した内容で、前年以上の来場者に足を運んでいただき、本校・本学園の教育内容を紹介できた。今後も地域と連携した取り組みを継続していく。 ・令和5年度から特別進学コースをアカデミック、グローバル、探究実践の3コースに改編した。アカデミックコースは九大都市研究センターとの連携による講座や、ジュニアアチーブメントジャパンとの連携によるデルタ航空での研修等を実施した。グローバルコースでは海外姉妹校との交流を活かして、カナダの新たな友好校とも交換留学を実施した。探究実践コースでは福大商学部との連携に基づいた授業や体験活動を実施した。3つのコースの特色を活かしながら様々な学びを展開した。 ・ICT機器は各教科で積極的に活用できている。次年度は出席や成績処理のシステムを導入し、観点別評価の充実や職員の負担軽減を図っていく。 ・3年間の学びの中で資格取得やボランティア活動などを推進し、その経験や体験を進路に活かせるよう指導していく。 ・問題行動件数は減少しているが、SNS関係のトラブルの増加とその対処に課題が残った。 ・生徒会活動において、生徒の各委員が主体的に活動できる体制づくりが急務である。	令和6年度教育重点目標 『GILIを基盤とした教育活動による学校活性化』 G：(Global)グローバル：広く世界に目を向け L：(Local)ローカル：地域との絆を大切に I：(Individual)インディビジュアル：個性や資質を伸ばす (1) 学科・コースの充実と発展 ①明確な到達目標の設定と3年間のロードマップに基づいた指導 ②ESD（持続可能な社会づくりの担い手を育む教育）の推進 ③学科・コースの連携強化と教育活動についての情報発信 (2) 確かな学力の習得 ①観点別評価の充実（日常の評価、定期考査の工夫） ②各種評価を用いた授業改善 ③コース間、教科間の連携による横断的な学びの推進 ④ICT機器の有効活用とAL（アクティブラーニング）の推進 ⑤SDGs活動の推進とグローバル教育の充実 ⑥地域との連携による総合的な探究活動等の推進 (3) 系統立てた進路指導 ①高い進路目標設定と個別最適な学びの確立 ②入試形態、模試結果等の分析と早期対策 ③資格取得の推進 ④海外も含めた多様な進路の開拓（キャリア教育の充実） (4) 自律心の育成 ①生徒会・委員会活動の活性化 ②規範意識の醸成 ③ボランティア活動の推進 (5) 人権教育及び特別支援教育の視点に立った学習活動の充実 ①自尊心の向上 ②ソーシャルスキルの向上	総合評価		
分掌	具体的目標	目標達成に向けての取り組み	数値目標	評価	成果と課題
総務部	学校行事・教育活動の企画	GILIを基盤とした学校行事の企画立案	各行事は4週間前までに立案		
		ICT機器の有効活用した教育活動の円滑な実施	ICT機器環境調査(学期に1回)		
	生徒の学習環境の充実	生徒美化委員会との連携、清掃点検活動の企画	美化委員会活動への参加		
		SDGs活動の推進、ゴミ分別回収の徹底	美化点検活動(月に1回)		
教務部	教育課程の改善	コース・教科との連携	教育課程に関する会議の実施		
		全職員との連携	教育課程実施目的の共有		
	成績・学籍管理のクラウド化	「Blend」の活用と全面運用	正確な入力、出欠入力100%		
		過去データの移行	全データの移行		
生徒指導部	自立(自律)型生徒の育成	多面的な指導・評価を伴う授業の構築	考査と日頃の取り組みを同等に評価できる仕組みづくり		
		評価基準や評価方法の共有と提案	考査前後での教科会議の開催年8回以上		
	いじめ・暴力行為の未然防止	生徒主体の生活向上活動を実施する	半期に1回以上の実施		
		生徒主体で学年集会・全校集会を運営させる	段階的に実施		
進路指導部	高い進路目標を持った生徒の育成	生徒主体で学校行事・コース行事を運営させる	年間3回以上実施		
		アンケート調査(生徒・保護者・教職員)の実施	年間5回以上の実施		
	国際社会を担うグローバル人材の輩出	SNS・いじめ防止のワークショップの実施	年間1回以上の実施		
		命の大切さを学ぶ講演会の実施	年間1回以上の実施		
学校企画部	多様な人権感覚を身に付けた生徒、地域貢献できる生徒の育成	全校集会や学年集会で他者への配慮・おもいやりについての講話を実施	年間5回以上の実施		
		特設授業(ソーシャルスキル)ワークショップの実施	年間1回以上の実施		
	多様な人権感覚を身に付けた生徒、地域貢献できる生徒の育成	人間関係のトラブル回避に関するワークショップの実施	年間1回以上の実施		
		講演会の実施	年間1回以上の実施		
	学校行事で姉妹校との交流プログラムを披露		年間2回以上の実施		
	生徒主体の地域貢献活動の実施		年間1回以上の実施		

分掌	具体的目標	目標達成に向けての取り組み	数値目標	評価	成果と課題
第1学年	規範意識および基本的な生活習慣の定着	朝の風紀チェックおよび指導 生活習慣定着のための遅刻・欠席者指導	チェック数全体の15%未満 チェック数全体の15%未満		
	個別最適な進路実現のための取り組み	個人シート作成による個別情報の収集と活用、定期考査および模試分析会の開催 自分づくりシートの指導	個人シート作成および分析会の開催100% 自分づくりシート内容の実現75%		
	個々の資質・能力の開発のための探究活動および学習習慣の定着	各種検定合格の目標達成および対策講座の実施、検証 SDGsの基礎知識習得と実践活動およびボランティア活動、グローバル活動、その他の活動の充実	目標結果の達成80% SDGsの基礎知識習得および活動およびボランティア活動等の経験100%		
第2学年	進路目標を確立するための学習指導の継続と探究力の向上	各クラス（コース）の進路指導に基づいた学習計画 修学旅行や進路目標を踏まえた探究学習 漢検・英検等、各種検定試験合格に向けた学習会の実施	追試・追指導対象生徒0人 修学旅行後の探究学習発表会の実施 各種検定試験結果の向上		
	規律遵守の継続と自尊心の向上	昨年度（1年次）の特別指導生徒への定期的説諭 生徒主動の集会、中核学年としての意識向上とリーダー育成	特別指導該当生徒0人 生徒主動の集会等の実施		
	地域社会への貢献と自己啓発の促進	地域ボランティア・グローバル・SDGs活動への積極的参加 部活動・コース活動に対する学年応援の積極的参加	ボランティア参加率学年70% 学年応援参加率70%		
第3学年	自律心に基づいた規律遵守の継続と模範となりうるリーダーシップの発揮	遅刻・欠席者、成績不振生徒への定期的指導の実施（学年・コース集会） 学年集会における生徒の主体的活動（生徒からの発言） 学校行事におけるリーダーシップの実践と模範的行動の促進	対象生徒への集会各学期1回ずつ 学年集会における生徒の発言機会毎回1人 行事での実行委員長選出、協力生徒の選出		
	進路目標に向けての学習に対する努力の継続と生徒個々の探究力・実践力の向上	オープンキャンパス参加やICT機器を活用した入試関係情報収集 面接指導・各種提出書類作成指導の実践 定期考査・模試・検定結果の分析と学習内容・方法の修正	学年全生徒の6月までの希望進路先選考把握 生徒・教員向け講義・説明会の実施 HR・総合的な探究の時間を利用した振り返り実施		
	愛校心の醸成・確立と地域・社会・集団での諸活動への積極的参加による協働力の充実	集会等における校歌指導の実施と部活動学年応援への積極的参加 各種ボランティア活動の奨励ならびに地域貢献・連携力の向上 学年生徒の体育祭・学園祭等での中心的な活動	学年集会での毎回校歌斉唱実施 各種ボランティア活動参加生徒40%以上 学年生徒の体育祭・学園祭等での中心的な活動		
専攻科	国試・就職試験に必要な基礎学力向上・社会人としての礼儀とマナー	一般常識問題の対策と演習 自動車販売会社人事担当者による接遇マナー研修の実施	両学年共に前期・後期2回以上		
	生徒の基礎的整備技術習得・教員の新機構技術及び知識の習得	日々の実習受援による技術力の向上、企業出前授業による新機構講習の実施 各版社で行われている研修への積極的参加	各版社協力を得て5社以上での開催		
	国家試験全員受援・全員合格	1年生から国試を意識した考査問題の取り組み 専攻科オリジナル問題による国家試験特別授業の実施	全員受験・全員合格100%		

特別進学コース	実践的な英語教育を通して、高度な英語力とグローバルスキルを身に付けると共に、国際交流活動やSDGsの取り組みなどを通して世界を舞台に活躍できる人材の育成を目指す。(Global)	多様な学習機会の提供と、それらへの参加の奨励 広域的大学情報・入試情報と、それらへの接触の機会の提供	コース会議における進路希望や模試結果分析の実施年4回以上		
	地域との連携を図り、その課題を解決するとともに、その中で得た学びを発信する機会を保障するとともに、地域の大学・小中学校・学習塾等と協働して将来にわたって学び続ける姿勢を身に付けさせる。(Local)	地域との連携促進 GLIと結びつけた「飯塚高校の特進」の強みの発信	グローバル・地域活動・その他個人活動で強みを発信できる生徒100%		
	アクティブラーニングや教科・科目横断授業を通して、確かな基礎学力を育成し、またこれを生徒の個性・適正に応じたものへと転化させ、各種検定・資格の取得と第一希望進路の実現、文武両道を推進する。(Individual)	個別最適・主体的な学習を促す課外の設定と、検定資格取得の奨励 教員の授業「向上」の挑戦	放課後・長期休業中の特別講座の開講にあたり、生徒のニーズ反映率100% 教科の特性を生かしたアウトプットの機会保証100%（+教科・科目横断授業実施への挑戦）		
	福祉施設への就職指導	集大成としての施設実習を迎えるため、事前学習を強化 ボランティア要請への応答	就職希望者全員の内定		
医療福祉進学コース	医療・リハビリ系学校への進学	入試形態、受験科目の確認、過去問への取り組み、放課後指導の実施 作文、面接指導の実施	看護系1名、リハビリ系5名の合格者		
	国家試験合格率の維持・向上	日々の授業の復習強化 模擬試験の実施	合格率90%以上		
	コミュニケーション能力の工場とコース内連携の強化	生徒主体でのコース集会の実施 3学年共同縦割りでの保育イベントを通じたコース内連携の強化	月に一度の定期コース集会の実施 保育イベントの継続開催		
こども保育進学コース	進路実現に向けた学力向上と進路指導の個別最適化	定期考査前クラス学習会・各資格検定の学習会実施 コース全体での進路指導	各学習会参加率100%・検定受験者合格率80%(幼保英検・英検・漢検) 年4回の定期コースミーティングでの進路共有と個別指導の実施		
	ピアノ演奏技術の習得及び保育技術検定の合格率向上	バイエルの各年次目標達成の指導強化 保育技術検定の各年次目標達成の指導強化	バイエル各年次目標達成率100% 保育技術検定各年次目標達成率100%		
	3級自動車整備士全員合格	欠課時数の減少と補講の実施 専攻科との相互協力	国家試験合格者100%		
自動車エンジニアコース	自動車専攻科との一本化	専攻科との相互協力 出前授業の実施(自校主催)	専攻科との合同授業の全学年2回の実施		
	モノづくりの図体現	グループワークの工作作業 クルマの構造理解を深める	学園祭に向けてコースで1作品の作成		
	お客様に夢・感動・安らぎ・幸せを運ぶ人材(進路実現)	専門学校授業・菓子屋との連携授業の実施 コース集会での進路指導	年2回の専門学校、年1回の菓子屋との連携授業の実施 年7回のコース集会での進路指導や卒業生講話の実施		
製菓コース	仕事を通して社会貢献出来る人材(社会人育成)	学校生活において、基本的な習慣を身に付けさせるための毎朝の風紀チェックの実施 授業を通して自ら率先して行動し、自分で考え判断し行動する	特別指導生徒数ゼロ 授業におけるグループワークの実施		
	基本技術と資格の習得(自己実現)	定期考査前・国家試験に向けての学習会の実施 放課後の技術練習の実施	各学習会参加率100%・国家試験全員合格 各実技テスト前、長期休暇中の技術練習		
	リーダー育成	授業・実習・行事で主体的にリーダーの役割を担わせる 学級委員長、部活動部長でリーダーズミーティングを行う	—		
健康スポーツコース	第一志望の進路希望達成	学力向上プログラムを実践・実行する 基礎学力向上とともに、専門知識を習得し、大学進学を目指す	100%達成		
	各部活動での目標達成	目標達成のためのトレーニングを全力で行う 各部活で工夫して新たな取り組みを考える	全部活動県大会ベスト8以上		
	高い検定合格率	専門科目における基礎知識・技術の習得 興味関心を持たせる	日商簿記3級50%合格・2級5名合格 年間2種目以上合格		
トータルライセンスコース	進路実績	確かな基礎学力の向上と、頑張りきる力の育成 専門科目・検定を活かした進路指導	進学・就職100%達成		
	生きる力を身に付けて	基礎的人間力の向上(自立型人間の育成)	—		
	社会に貢献できる人材育成	社会に求められている以上の成果を出せる人材育成	—		